

焦点  
FOCUS

# 延べ1万人に耐震化の大切さを説いた名古屋大学の福和伸夫さん 東南海地域の耐震化の伝道師

台車を前後に揺らすと木造の軸組モデルがぐにやぐにやと変形する。名古屋大学大学院教授の福和伸夫さんは、この「ぶるる」と名付けた教材を用いたセミナーを年間150〜200回も開いて、耐震化の重要性を訴えている。

セミナーの対象は、小学生と親、市民防災グループ、報道関係者、ビルオーナーなどと幅広い。「耐震診断を受けましょう」と訴えても、耐震化の大切さはなかなか理解してもらえない。説明する相手や人数に適したツールを使うことも大切」と、福和さんは話す。

上の写真の「台車ぶるる」は、大人数を相手に耐震補強効果を説明するためにつくった。地盤の状態や、耐震壁の量・配置、屋根の重さなどによって耐震性に違いがあることを見せるものだ。

「ぶるる」を使った実演ビデオ

